

**茨城でチャレンジする人を応援する学びと実践のプログラム「STAND IBARAKI」
最終公開プレゼンピッチを開催します！**

茨城県では、本県への関係人口を創出するため、茨城でチャレンジしたい！という方が地域資源を活用して、イベント企画や場づくりなど自ら考えるプロジェクト「STAND IBARAKI」を実施しています。

昨年9月にスタートし、18名の参加者が6ヶ月間の学びと実践のプログラムを終え、その成果を発表する最終プレゼンピッチを、下記のとおり公開イベントとして開催します。

報道各社におかれましては、本イベントの周知にご協力いただきますとともに、当日の取材方よろしくお願ひいたします。

地域の熱を、見逃すな。

ローカルプロジェクトラボ、「STAND IBARAKI」ファイナル!

茨城ローカルプロジェクト 最終公開プレゼンピッチ

2.11^{Sat} [土]

13:00 → 17:00
@茨城県立図書館
(視聴覚ホール)

先着100名 参加無料 配信あり

**【開催概要】**

- 日時：令和5年2月11日（土） 13:00～17:00
- 場所：茨城県立図書館（視聴覚ホール） ※オンライン（Zoom）併用
- スケジュール
13:00 開会
13:15 プロジェクトオーナーによるプレゼンピッチ（3分×18名）
15:40 オーディエンス投票、アフタートーク
16:30 結果発表
17:00 終了
- その他（表彰）
 - ・メンター等による審査やオーディエンス投票に基づき、「NEW IBARAKI賞」などを決定
 - ※受賞者は都内で開催する自身のプロジェクトを周知するイベントに参加（2/23予定）

5 発表者 (※内容はプロジェクト開始時点のもの)



①本と〇〇。-本がある場づくり-

【板谷 隼さん】

水戸市袴塚にある住み開きシェアハウス”ちとご”を拠点に、本のある”立ち寄れる場所”を生み、人が出会い学びが生まれる場づくりにトライします。自分や周りの人の暮らしが”開く”きっかけにしたいです。



②下館京師会 市街地魅力向上・発信プロジェクト

【宇田川 大介さん】

「UPDATE SHIMODATE」と「下館の輸出」を活動の二本柱として活動しています。下館の地域魅力を向上させつつ発信することで「地元も、世界も。あつと驚く下館に。」を実現させ、関係交流人口とシビックプライド向上を目指します。



③NEW 310 ~学生×地域の八方良しプロジェクト~

【蛸名 雄太郎さん】

アイデアのブラッシュアップとコアメンバーを集め、具体的計画を実行に移していき、その過程において共感者やファンを増やし、資金も獲得したい。そのためのさらなるアイデアやノウハウ等を見聞きたいです。



④まちをつくるアパート~こみと~

【大越 瑞生さん】

どんな町に住みたいですか？僕は、みんながいい感じに暮らせて、程よくいい感じに共存できる、そんな町に住みたいです。そんな町をつくる仲間を募集しています。いいなと思ったそこのあなた、共に暮らしましょう。



⑤アウトドアベース大子

【大森 湧太さん】

【茨城県大子町のアウトドアサービス】「アウトドアしたいけど、道具を持ってない」「大子町まで道具を持っていくのが大変」「アクティビティ体験の予約方法が分からない」上記の悩みを解決できるサービスを提供予定です！



⑥ヒカリノイロドリ

【岡崎 佑汰さん】

「学生と地域を繋ぐ」・「学生が何かを始める時の支援を行う」事で学生の「やりたい」を実現します。また、「やりたい」を見つけるお手伝いをします。学生というヒカリにイロドリを加えていきます。



⑦漫画書簡 -Manga Letter-

【ボン子さん】

コロナ禍の今、入院・入所している方と会えるのはリモート面会くらい。終わった後、互いにもっと寂しくなりそう。一人でも、見返して何度でも温かい気持ちになれる「漫画書簡」のエビデンスと差別性を固めたい。



⑧オリオリ人生活サポート

【織原 大さん】

「生活に困っている高齢者(家族も含め)の支援」「関係者との連携強化」を行うため、「つながり」を作り、地域との輪を広げていきたい。その方法について、いろいろ考え、話をし、実践していきたい。



⑨やちよまち仮想鉄道

【草柳 ちよ子さん】

移住ソムリエ®です。地域を行き交う人の流れを創りたく八千代町の地域おこし協力隊員でにぎわい創出を担当しています。地域を超えて繋がり未来への継承と資源活用をテーマに相互交流できる駅を創ります。



⑩ノープラン イバラキ

【齊藤 佑飛さん】

“朝ごはんから宿までの情報を地元の人の声をベースに結ぶ「旅のテンプレート」を作成し、ノープランでも茨城満喫コンテンツを発信！週末の予定がない方々たちへ妥協ではない安定の「とりあえず茨城！」を作り出したい”



⑪たのしごとうれしごと／人とストーリーへの共感から始まるお仕事プロジェクト

【佐野 匠さん】

合言葉は「仕事だからしょうがない」。ストーリーへの共感から仕事に関わり、仕事と称して楽しく茨城で遊びながら、作り手が楽しい仕事、依頼主が嬉しい仕事に取り組みます。楽しい仕事を一緒に作るメンバー募集中です。



⑫音楽フェスを日常にする

【渋谷 直樹さん】

音楽フェスを日常に根付かせる為、マルシェ要素やメタバース活用を取り入れた可能性を模索していきたいです。



⑬『縁・芸』プロジェクト

【高崎 誠さん】

障害との垣根を無くしたい。アーティストと福祉施設等のマッチングを行い、障害のある方とアーティストと一緒に新しい“何か”を生み出します。誰かにとって素敵な“縁”を作り出していきたい！『縁芸士』になります！



⑭共鳴塾

【中川 元さん】

世の中の理不尽に振り回されることなく、自身の持っている原体験を基に、創造性を発揮出来る仕組みを創出したいです。



⑮森と未来の学校

【橋本 理沙さん】

茨城を教育旅行の聖地にしたい！また、旅を通して「茨城県」が参加した生徒たちの人生の選択肢になるといいなと考えています。活動は、茨城が抱える社会課題を学べるコンテンツの開発、旅の企画・実施が主です。



⑯ゆるいば

【ホンモト ツヨシさん】

いばらきのゆるい暮らしを発信していきます。



⑰潮来SUP

【横地 綾人さん】

歴史と水の都、潮来や鹿嶋を中心にSUPで巡る水上ツアーを企画実行します。目指す未来は、自転車やマリンスポーツ等のベース拠点となり、魅力ある水辺で時間を過ごし暮らせる、そんな日常と文化です。



⑱大子のプライベートサウナがある宿

【和田 真寛さん】

二拠点生活している大子の家に石蔵のサウナをつくっちゃいました。サウナでととのってみんなで楽しく過ごす。そんな体験をシェアして楽しい場所を創っていきます。そして『サウナ宿の運営を一緒に取り組んでくれるメンバー』を募集中です！

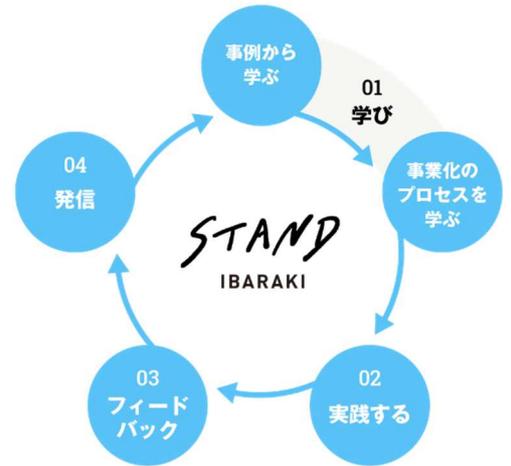
【STAND IBARAKIとは】 <https://standibaraki.jp/>

茨城でチャレンジしたい！という方が「自ら設定したプロジェクト」のプロトタイプを実践する6ヶ月のプログラムです。

学び・実践・フィードバック・発信のサイクルを、メンターや事務局のサポートを受けながら繰り返し、「ローカル」で実践する際に必要な「地域のキーパーソン」とのつながりを得たり、「事業の作り方」を学んだりしながら、参加者がプロジェクトの事業化を目指します。

茨城県にゆかりのあるメンターらが伴走するので、プログラム終了後もつながりを保ちやすく、参加者のチャレンジを持続できる仕組みにしているのが特徴です。

今回は、実践した仲間とともに、公開プレゼンを実施します。



【問い合わせ先】

■茨城県政策企画部計画推進課 移住推進G

担当：大須賀、高田 TEL：029-301-2536（直通）

Mail：iju-2chiiki@pref.ibaraki.lg.jp

ご取材いただける場合は、お手数ですが、2月10日（金）17時までに電話またはメールにて計画推進課あて、ご連絡いただきますようお願いします。

■事業受託・運営：茨城移住計画 (<https://ibaraki-iju.com/>)

担当：佐藤、久松 Mail：ibaraki.iju@gmail.com